

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	この投資信託は、日経平均株価（日経225）をベンチマークとし、日経225インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の取引所に上場している株式に実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要 運用対象	ベビー ファンド	日経225インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	わが国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	ベビー ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザー ファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年11月15日とし、同日が休業日に該当する場合は翌営業日となります。）に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。  ※＜分配金再投資（累積投資）コース＞の場合、税引き後の分配金は、自動的に無手数料で再投資されます。	

# 運用報告書（全体版）

第3期

（決算日 2020年11月16日）

農林中金<パートナーズ>  
つみたてNISA日本株式 日経225

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「農林中金<パートナーズ>つみたてNISA日本株式 日経225」は去る11月16日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用状況に関する問い合わせ窓口  
（フリーダイヤル）0120-439-244  
<受付時間>営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>

 **NZAM**

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			日経平均株価(日経225)		騰落率 差異状況	株式 組入率	株式 先比率	株式 物率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	騰落率	騰落率					
(設定日) 2017年12月19日	円 10,000	円 -	% -	円 22,868.00	% -	% -	% -	% -	百万円 2,000	
1期(2018年11月15日)	9,683	0	△ 3.2	21,803.62	△ 4.7	1.5	87.7	12.1	1,958	
2期(2019年11月15日)	10,535	0	8.8	23,303.32	6.9	1.9	77.9	21.9	2,228	
3期(2020年11月16日)	11,918	0	13.1	25,906.93	11.2	2.0	67.0	32.8	2,697	

(注1) 設定日の基準価額及び純資産総額は設定当初の金額です(以下同じ)。

(注2) 分配金があった場合、基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注3) 騰落率差異状況=基準価額期中騰落率-日経平均株価(日経225)期中騰落率

(注4) 当ファンドは、マザーファンドを組入れますので、株式組入比率、株式先物比率(=買建比率-売建比率)は、実質組入比率を記載しております(以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		日経平均株価(日経225)		騰落率 差異状況	株式 組入比率	株式 先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2019年11月15日	円 10,535	% -	円 23,303.32	% -	% -	% 77.9	% 21.9
11月末	10,525	△ 0.1	23,293.91	△ 0.0	△ 0.1	78.2	21.5
12月末	10,704	1.6	23,656.62	1.5	0.1	78.2	21.6
2020年1月末	10,492	△ 0.4	23,205.18	△ 0.4	0.0	76.1	23.8
2月末	9,563	△ 9.2	21,142.96	△ 9.3	0.0	74.5	25.2
3月末	8,644	△ 17.9	18,917.01	△ 18.8	0.9	69.6	30.3
4月末	9,206	△ 12.6	20,193.69	△ 13.3	0.7	68.4	31.6
5月末	9,979	△ 5.3	21,877.89	△ 6.1	0.8	69.4	30.4
6月末	10,188	△ 3.3	22,288.14	△ 4.4	1.1	69.4	30.4
7月末	9,930	△ 5.7	21,710.00	△ 6.8	1.1	68.9	31.0
8月末	10,578	0.4	23,139.76	△ 0.7	1.1	67.8	32.0
9月末	10,659	1.2	23,185.12	△ 0.5	1.7	66.8	33.2
10月末	10,546	0.1	22,977.13	△ 1.4	1.5	66.0	34.0
(期末) 2020年11月16日	11,918	13.1	25,906.93	11.2	2.0	67.0	32.8

(注1) 分配金があった場合、基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注2) 騰落率は期首比です。

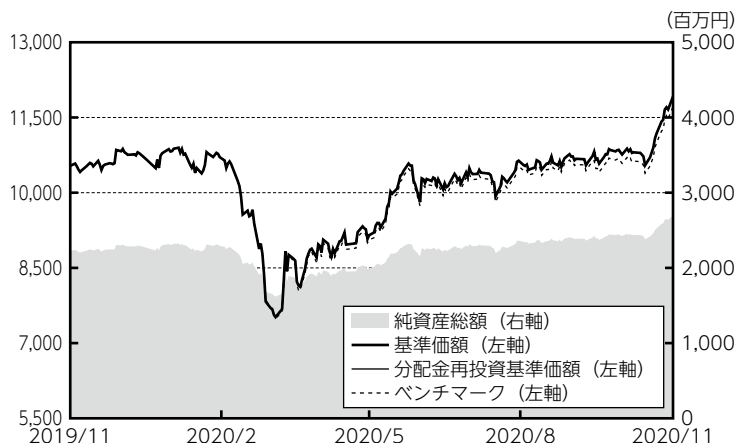
(注3) 騰落率差異状況=基準価額騰落率-日経平均株価(日経225)騰落率

日経平均株価(日経225)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。また、株式会社日本経済新聞社は日経平均株価(日経225)の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第3期：2019年11月16日～2020年11月16日)



第3期首 : 10,535円  
第3期末 : 11,918円  
(既払分配金 0円)  
騰落率 : 13.1%  
(分配金再投資ベース)

- ・ベンチマークは、日経平均株価（日経225）です。  
日経平均株価（日経225）に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。また、株式会社日本経済新聞社は日経平均株価（日経225）の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首10,535円で始まり、期末には11,918円となり、騰落率は13.1%の上昇となりました。

#### □プラス要因

国内株式市場が新型コロナウイルスの影響を受けて急落した後に、景気回復に対する期待感などから上昇基調に転じ、11月には米大統領選通過による不透明感の後退などにより大幅に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

## 【投資環境について】

日経平均株価（以下「日経225」という）は期首、米中貿易協議の進展期待や政府による経済対策の発表などを受けて堅調に推移しました。1月には米中貿易協議が第1段階の合意に至ったことを受けて上昇したものの、2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に加えて、産油国の供給抑制が合意に至らず需給悪化が懸念され原油価格が急落したことなどから、世界的な景気減速の可能性が意識され、大幅に下落しました。4月以降は、東京での都市封鎖に対する懸念が高まったことを受けて下落する場面もあったものの、緊急事態宣言の発令後は経済活動再開に対する期待感から上昇しました。6月以降は新型コロナウイルスの感染第二波に対する懸念から上値の重い推移となりましたが、8月に入ると米欧の経済指標が堅調な結果となったことや、国内企業の4-6月期決算が市場予想ほど悪化しなかったことが好感され、堅調に推移しました。9月以降は、米追加経済対策法案の成立期待後退や、米欧における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、グローバルな景気回復の鈍化が意識されたことを受けて上値の重い展開となりました。期末にかけては、米大統領選通過による不透明感の後退や新型コロナウイルスのワクチン開発期待などを受けて、日経225は大幅に上昇しました。

(第3期：2019年11月16日～2020年11月16日)



## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、日経225をベンチマークとし、日経225インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の取引所に上場している株式に実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

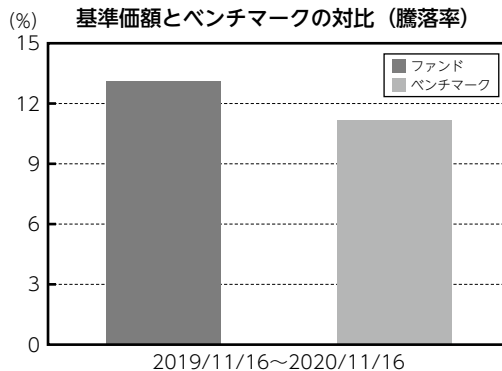
前述のような投資環境のもと、以下のような運用を行いました。

マザーファンドにおける運用では、日経225採用銘柄を主要投資対象とし、日経225の動きに連動するようにポートフォリオを構築しました。また、日経225構成銘柄の変更に伴う組入銘柄の入れ替えを行い、当期末には日経225と同様の銘柄構成となっております。

株式組入比率につきましては、追加設定・中途解約による資金流入出に対応しつつ、日経225指数先物を活用しながら、期を通して実質的に概ね高位な組入比率を維持しました。

### 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークである日経225との比較では、ベンチマークの騰落率+11.2%に対して、2.0%上回りました。主に、配当要因等がプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 【分配金について】

収益分配金につきましては、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送らせていただきました。

なお、収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し元本と同様の運用を行っております。

### ■分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

項 目	第3期 2019年11月16日 ～2020年11月16日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率：%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,972

- (注1) 「対基準価額比率」は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- (注2) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- (注3) 分配金は、決算日から起算して5営業日までに販売会社より支払いが開始されます。
- (注4) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。
- 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。
- (注5) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 《今後の運用方針》

今後の運用につきましては、引き続きマザーファンドへの投資は高位な組入れを目指します。また、マザーファンドにおける運用は株式の投資割合(日経225指数先物含む)を概ね98%以上に保ち、また保有する株式は、日経225指数構成比率と同水準の比率で保有するよう努め、日経225との連動性を高めるよう運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2019年11月16日 ～2020年11月16日		項目の概要
	金額 円	比率 %	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	39 (12) (24) ( 2)	0.386 (0.119) (0.243) (0.024)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社によるファンドの運用の対価 分配・換金・償還金の支払、運用報告書の送付、口座管理等に係る費用 受託会社によるファンド運用財産の保管、管理、運用指図実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	0 ( 0) ( 0)	0.005 (0.002) (0.003)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に売買仲介人に支払う手数料 先物・オプションを取引する際に売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 ( 0) ( 0)	0.005 (0.003) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務に係る諸費用
合計	39	0.396	

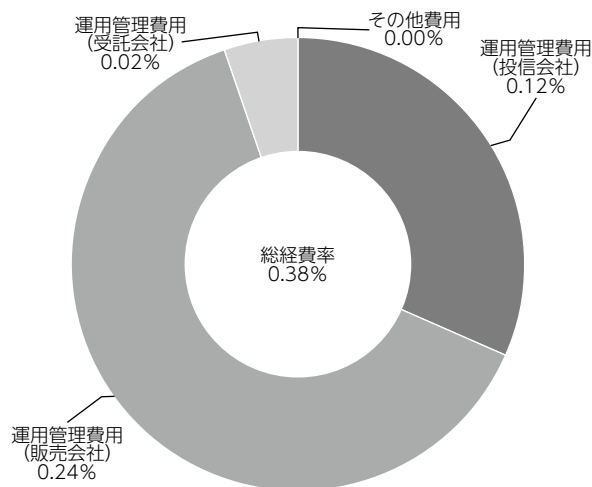
期中の平均基準価額は、10,084円です。

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注3) 売買委託手数料及びその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注4) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.38%です。



- (注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年11月16日から2020年11月16日まで）  
親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
日経225インデックス・マザーファンド	千□ 164,092	千円 168,273	千□ 25,731	千円 27,638

■**株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期	
	ベビーファンド	マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	-千円	81,890千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	-千円	2,459,675千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	-	0.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年11月16日から2020年11月16日まで）

当期における当ファンド及びマザーファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■**第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況**

該当事項はありません。

■**組入資産の明細**

親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)		
	□ 数	□ 数	評 価 額
日経225インデックス・マザーファンド	千□ 2,098,291	千□ 2,236,652	千円 2,695,389



## ■投資信託財産の構成

2020年11月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日経225インデックス・マザーファンド	千円 2,695,389	% 99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,694	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,706,083	100.0

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年11月16日現在

項 目	当 期 末
<b>(A)資 産</b>	<b>2,706,083,938円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,928,301
日経225インデックス・マザーファンド(評価額)	2,695,389,468
未 収 入 金	8,766,169
<b>(B)負 債</b>	<b>8,162,166</b>
未 払 解 約 金	3,566,169
未 払 信 託 報 酬	4,522,741
未 払 利 息	3
そ の 他 未 払 費 用	73,253
<b>(C)純 資 産 総 額(A-B)</b>	<b>2,697,921,772</b>
元 本	2,263,819,012
次 期 繰 越 損 益 金	434,102,760
<b>(D)受 益 権 総 口 数</b>	<b>2,263,819,012口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	11,918円

### <注記事項>

当ファンドの期首元本額は2,115,297,873円、期中追加設定元本額は165,642,903円、期中一部解約元本額は17,121,764円です。

## ■損益の状況

当期 自2019年11月16日 至2020年11月16日

項 目	当 期
<b>(A)配 当 等 収 益</b>	<b>△ 766円</b>
受 取 利 息	16
支 払 利 息	△ 782
<b>(B)有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>327,817,988</b>
売 買 益	333,014,157
売 買 損	△ 5,196,169
<b>(C)信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 8,633,550</b>
<b>(D)当 期 損 益 金(A+B+C)</b>	<b>319,183,672</b>
<b>(E)前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>116,446,995</b>
<b>(F)追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>△ 1,527,907</b>
(配 当 等 相 当 額)	( 10,740,551)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,268,458)
<b>(G) 計 (D+E+F)</b>	<b>434,102,760</b>
<b>(H)収 益 分 配 金</b>	<b>0</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金(G+H)</b>	<b>434,102,760</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,527,907
(配 当 等 相 当 額)	( 10,928,940)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 12,456,847)
分 配 準 備 積 立 金	435,630,667

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (F)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。

### <第3期分配金の計算過程>

計算期間末における費用控除後の配当等収益(28,217,641円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(290,966,031円)及び信託約款に規定される収益調整金(10,928,940円)及び分配準備積立金(116,446,995円)より分配対象収益は446,559,607円(1万口当たり1,972.59円)となりますが、分配は行っておりません。

## ■分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0 円
------------------	-----

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。

日経225インデックス・マザーファンド

運用報告書

《第3期》

決算日：2020年11月16日

(計算期間：2019年11月16日～2020年11月16日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日経平均株価（日経225）をベンチマークとし、主としてわが国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）に上場している株式に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。わが国の株式への投資割合は、原則として高位に保ちます。ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

運用状況に関する問い合わせ窓口  
(フリーダイヤル) 0120-439-244  
<受付時間> 営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>

 **NZAM**  
農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		日経平均株価 (日経225)		騰落率 騰落率 騰落率	株組 式入率	株先 比	式物 率	純資 産額
	期 騰落率	中 率	日 騰落率	中 率					
(設定日) 2017年12月19日	円 10,000	% -	円 22,868.00	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 1,998
1期 (2018年11月15日)	9,716	△ 2.8	21,803.62	△ 4.7	1.8	87.8	12.1		2,681
2期 (2019年11月15日)	10,611	9.2	23,303.32	6.9	2.3	78.0	22.0		3,317
3期 (2020年11月16日)	12,051	13.6	25,906.93	11.2	2.4	67.1	32.9		4,284

(注1) 設定日の基準価額及び純資産総額は設定当初の金額です (以下同じ)。

(注2) 騰落率差異状況 = 基準価額期中騰落率 - 日経平均株価 (日経225) 期中騰落率

(注3) 株式先物比率 = 買建比率 - 売建比率 (以下同じ)

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		日経平均株価 (日経225)		騰落率 騰落率 騰落率	株組 式入率	株先 物比率
	騰落率	騰落率					
(期首) 2019年11月15日	円 10,611	% -	円 23,303.32	% -	% -	% 78.0	% 22.0
11月末	10,603	△ 0.1	23,293.91	△ 0.0	△ 0.0	78.3	21.5
12月末	10,787	1.7	23,656.62	1.5	0.1	78.3	21.6
2020年1月末	10,576	△ 0.3	23,205.18	△ 0.4	0.1	76.1	23.8
2月末	9,643	△ 9.1	21,142.96	△ 9.3	0.1	74.5	25.2
3月末	8,720	△ 17.8	18,917.01	△ 18.8	1.0	69.5	30.2
4月末	9,289	△ 12.5	20,193.69	△ 13.3	0.9	68.3	31.6
5月末	10,073	△ 5.1	21,877.89	△ 6.1	1.0	69.4	30.5
6月末	10,288	△ 3.0	22,288.14	△ 4.4	1.3	69.5	30.4
7月末	10,030	△ 5.5	21,710.00	△ 6.8	1.4	68.9	31.0
8月末	10,688	0.7	23,139.76	△ 0.7	1.4	67.8	32.0
9月末	10,774	1.5	23,185.12	△ 0.5	2.0	66.7	33.2
10月末	10,663	0.5	22,977.13	△ 1.4	1.9	66.0	33.9
(期末) 2020年11月16日	12,051	13.6	25,906.93	11.2	2.4	67.1	32.9

(注1) 騰落率は期首比です。

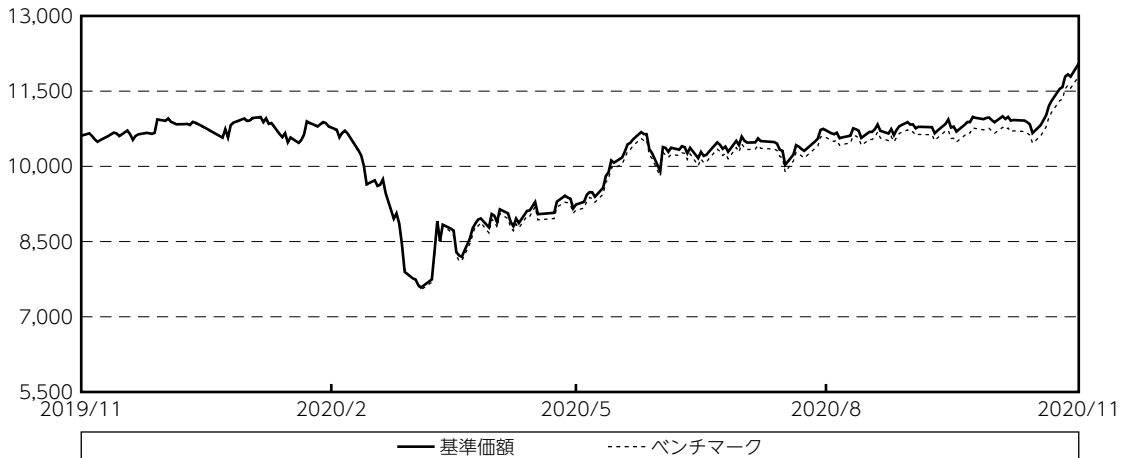
(注2) 騰落率差異状況 = 基準価額騰落率 - 日経平均株価 (日経225) 騰落率

日経平均株価 (日経225) に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。  
また、株式会社日本経済新聞社は日経平均株価 (日経225) の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第3期：2019年11月16日～2020年11月16日)



(注1) ベンチマークは、日経平均株価（日経225）です。

(注2) ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首10,611円で始まり、期末には12,051円となり、騰落率は13.6%の上昇となりました。

#### □プラス要因

国内株式市場が新型コロナウイルスの影響を受けて急落した後に、景気回復に対する期待感などから上昇基調に転じ、11月には米大統領選通過による不透明感の後退などにより大幅に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

### 【投資環境について】

日経平均株価（以下「日経225」という）は期首、米中貿易協議の進展期待や政府による経済対策の発表などを受けて堅調に推移しました。1月には米中貿易協議が第1段階の合意に至ったことを受けて上昇したものの、2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に加えて、産油国の供給抑制が合意に至らず需給悪化が懸念され原油価格が急落したことなどから、世界的な景気減速の可能性が意識され、大幅に下落しました。4月以降は、東京での都市封鎖に対する懸念が高まったことを受けて下落する場面もあったものの、緊急事態宣言の発令後は経済活動再開に対する期待感から上昇しました。6月以降は新型コロナウイルスの感染第二波に対する懸念から上値の重い推移となりましたが、8月に入ると米欧の経済指標が堅調な結果となったことや、国内企業の4-6月期決算が市場予想ほど悪化しなかったことが

好感され、堅調に推移しました。9月以降は、米追加経済対策法案の成立期待後退や、米欧における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、グローバルな景気回復の鈍化が意識されたことを受けて上値の重い展開となりました。期末にかけては、米大統領選通過による不透明感の後退や新型コロナウイルスのワクチン開発期待などを受けて、日経225は大幅に上昇しました。

### 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、日経225をベンチマークとし、主としてわが国の取引所に上場している株式に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

前述のような投資環境のもと、以下のような運用を行いました。

ポートフォリオにつきましては、日経225採用銘柄を主要投資対象とし、日経225の動きに連動するようにポートフォリオを構築しました。また、日経225構成銘柄の変更に伴う組入銘柄の入れ替えを行い、当期末には日経225と同様の銘柄構成となっております。

株式組入比率につきましては、追加設定・中途解約による資金流入出に対応しつつ、日経225指数先物を活用しながら、期を通して実質的に概ね高位な組入比率を維持しました。

### 日経225構成銘柄の変更等

年 月	除 外 銘 柄	新規採用銘柄
2020年7月 (採用銘柄の上場廃止見込みに伴う臨時入替)	ソニーフィナンシャルホールディングス (8729)	日本取引所グループ (8697)
2020年10月 (定期入替)	日本化薬 (4272)	ソフトバンク (9434)
2020年10月 (採用銘柄の整理銘柄指定に伴う臨時入替)	ファミリーマート (8028)	ネクソン (3659)

### 業種別組入比率（上位10業種）

2019年11月15日（期首）

	業 種	比率 (%)
1	電気機器	15.3
2	小売業	10.9
3	情報・通信業	7.8
4	化学	6.4
5	医薬品	6.2
6	サービス業	4.2
7	輸送用機器	3.9
8	機械	3.7
9	食料品	3.2
10	精密機器	2.9

2020年11月16日（期末）

	業 種	比率 (%)
1	電気機器	13.7
2	小売業	9.0
3	情報・通信業	8.0
4	医薬品	5.4
5	化学	5.3
6	サービス業	4.7
7	機械	3.5
8	輸送用機器	2.9
9	精密機器	2.6
10	食料品	2.5

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

## 国内株式組入上位10銘柄

2019年11月15日 (期首)

	銘柄名	比率 (%)
1	ファーストリテイリング	8.1
2	ソフトバンクグループ	3.1
3	東京エレクトロン	2.7
4	ファナック	2.5
5	KDDI	2.3
6	ダイキン工業	1.9
7	テルモ	1.9
8	京セラ	1.7
9	信越化学工業	1.4
10	リクルートホールディングス	1.4

組入銘柄総数：225銘柄

2020年11月16日 (期末)

	銘柄名	比率 (%)
1	ファーストリテイリング	8.0
2	ソフトバンクグループ	3.8
3	東京エレクトロン	3.0
4	ファナック	2.3
5	ダイキン工業	2.2
6	エムスリー	1.8
7	KDDI	1.8
8	テルモ	1.7
9	信越化学工業	1.4
10	アドバンテスト	1.4

組入銘柄総数：225銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

### 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークである日経225との比較では、ベンチマークの騰落率+11.2%に対して、2.4%上回りました。主に、配当要因等がプラスに寄与しました。

## 《今後の運用方針》

今後の運用につきましては、引き続き株式の投資割合（日経225指数先物含む）を概ね98%以上に保ち、また保有する株式は、日経225指数構成比率と同水準の比率で保有するよう努め、日経225との連動性を高めるよう運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2019年11月16日 ～2020年11月16日		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	0 (0) (0)	0.005 (0.002) (0.003)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に売買仲介人に支払う手数料 先物・オプションを取引する際に売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務に係る諸費用
合 計	0	0.006	
期中の平均基準価額は、10,177円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買及び取引の状況（2019年11月16日から2020年11月16日まで）

### (1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 16 ( 9)	千円 39,542 ( -)	千株 20	千円 42,347

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、予約権行使・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	株 式 先 物 取 引	百万円 4,824	百万円 4,358	百万円 -	百万円 -

(注) 金額は受渡し代金。



## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	81,890千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,459,675千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ■主要な売買銘柄

株式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ネクソン	8	23,682	2,960	ファミリーマート	16	36,483	2,280
日本取引所グループ	4	11,130	2,782	日本化薬	4	3,790	947
ソフトバンク	4	4,729	1,182	ソニーフィナンシャルホールディングス	0.8	2,074	2,592

(注) 金額は受渡し代金。

## ■利害関係人との取引状況等 (2019年11月16日から2020年11月16日まで)

当期における当ファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細

### (1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
<b>水産・農林業 (0.1%)</b>				
日本水産	4	4	1,720	
マルハニチロ	0.4	0.4	914	
<b>鉱業 (0.0%)</b>				
国際石油開発帝石	1.6	1.6	876	
<b>建設業 (1.7%)</b>				
コムシスホールディングス	4	4	12,460	
大成建設	0.8	0.8	2,832	
大林組	4	4	3,704	
清水建設	4	4	3,188	
長谷工コーポレーション	0.8	0.8	982	
鹿島建設	2	2	2,574	
大和ハウス工業	4	4	12,832	
積水ハウス	4	4	7,672	
日揮ホールディングス	4	4	3,764	
<b>食料品 (3.7%)</b>				
日清製粉グループ本社	4	4	7,080	
明治ホールディングス	0.8	0.8	6,040	
日本ハム	2	2	8,830	
サッポロホールディングス	0.8	0.8	1,668	
アサヒグループホールディングス	4	4	16,456	
キリンホールディングス	4	4	8,962	
宝ホールディングス	4	4	5,004	
キッコーマン	4	4	27,320	
味の素	4	4	9,056	
ニチレイ	2	2	6,020	
日本たばこ産業	4	4	8,642	
<b>繊維製品 (0.1%)</b>				
東洋紡	0.4	0.4	546	
ユニチカ	0.4	0.4	152	
帝人	0.8	0.8	1,480	
東レ	4	4	2,154	
<b>パルプ・紙 (0.1%)</b>				
王子ホールディングス	4	4	1,968	
日本製紙	0.4	0.4	492	
<b>化学 (7.9%)</b>				
クラレ	4	4	4,420	
旭化成	4	4	3,908	
昭和電工	0.4	0.4	777	
住友化学	4	4	1,516	
日産化学	4	4	25,360	
東ソー	2	2	3,428	
トクヤマ	0.8	0.8	1,856	
デンカ	0.8	0.8	2,660	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
信越化学工業	4	4	61,320	
三井化学	0.8	0.8	2,345	
三菱ケミカルホールディングス	2	2	1,188	
宇部興産	0.4	0.4	718	
日本化薬	4	—	—	
花王	4	4	31,608	
D I C	0.4	0.4	1,051	
富士フィルムホールディングス	4	4	22,684	
資生堂	4	4	29,008	
日東電工	4	4	32,200	
<b>医薬品 (8.1%)</b>				
協和キリン	4	4	11,648	
武田薬品工業	4	4	14,260	
アステラス製薬	20	20	33,100	
大日本住友製薬	4	4	5,688	
塩野義製薬	4	4	22,488	
中外製薬	4	12	55,524	
エーザイ	4	4	31,252	
第一三共	4	12	42,060	
大塚ホールディングス	4	4	16,932	
<b>石油・石炭製品 (0.2%)</b>				
出光興産	1.6	1.6	3,528	
ENEOSホールディングス	4	4	1,480	
<b>ゴム製品 (0.6%)</b>				
横浜ゴム	2	2	3,358	
ブリヂストン	4	4	14,388	
<b>ガラス・土石製品 (1.1%)</b>				
AGC	0.8	0.8	2,840	
日本板硝子	0.4	0.4	168	
日本電気硝子	1.2	1.2	2,680	
住友大阪セメント	0.4	0.4	1,336	
太平洋セメント	0.4	0.4	1,181	
東海カーボン	4	4	4,864	
TOTO	2	2	11,560	
日本碍子	4	4	6,796	
<b>鉄鋼 (0.1%)</b>				
日本製鉄	0.4	0.4	486	
神戸製鋼所	0.4	0.4	199	
ジェイ エフ イー ホールディングス	0.4	0.4	360	
大太平洋金属	0.4	0.4	726	
<b>非鉄金属 (0.8%)</b>				
日本軽金属ホールディングス	4	0.4	716	
三井金属鉱業	0.4	0.4	1,208	
東邦亜鉛	0.4	0.4	819	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
三菱マテリアル	0.4	0.4	812
住友金属鉱山	2	2	7,504
DOWAホールディングス	0.8	0.8	2,904
古河電気工業	0.4	0.4	995
住友電気工業	4	4	5,338
フジクラ	4	4	1,608
<b>金属製品 (0.2%)</b>			
SUMCO	0.4	0.4	687
東洋製罐グループホールディングス	4	4	4,408
<b>機械 (5.2%)</b>			
日本製鋼所	0.8	0.8	2,120
オークマ	0.8	0.8	4,728
アマダ	4	4	4,092
小松製作所	4	4	10,188
住友重機械工業	0.8	0.8	1,915
日立建機	4	4	11,396
クボタ	4	4	8,472
荏原製作所	0.8	0.8	2,452
ダイキン工業	4	4	94,620
日本精工	4	4	3,664
NTN	4	4	932
ジェイテクト	4	4	3,580
日立造船	0.8	0.8	341
三菱重工業	0.4	0.4	979
IHI	0.4	0.4	600
<b>電気機器 (20.4%)</b>			
日清紡ホールディングス	4	4	3,040
コニカミノルタ	4	4	1,232
ミネベアミツミ	4	4	7,980
日立製作所	0.8	0.8	3,097
三菱電機	4	4	5,660
富士電機	0.8	0.8	2,792
安川電機	4	4	18,320
オムロン	4	4	33,680
ジーエス・ユアサ コーポレーション	0.8	0.8	1,758
日本電気	0.4	0.4	2,200
富士通	0.4	0.4	5,298
沖電気工業	0.4	0.4	370
セイコーエプソン	8	8	11,224
パナソニック	4	4	4,400
ソニー	4	4	37,964
TDK	4	4	55,280
アルプスアルパイン	4	4	5,860
横河電機	4	4	7,468
アドバンテス	8	8	57,840
カシオ計算機	4	4	7,920

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
ファナック	4	4	96,620
京セラ	8	8	49,072
太陽誘電	4	4	16,540
S C R E E Nホールディングス	0.8	0.8	5,048
キヤノン	6	6	11,466
リコー	4	4	2,680
東京エレクトロン	4	4	130,280
<b>輸送用機器 (4.3%)</b>			
デンソー	4	4	21,068
三井E & Sホールディングス	0.4	0.4	154
川崎重工業	0.4	0.4	630
日産自動車	4	4	1,876
いすゞ自動車	2	2	1,970
トヨタ自動車	4	4	29,896
日野自動車	4	4	3,780
三菱自動車工業	0.4	0.4	80
マツダ	0.8	0.8	526
本田技研工業	8	8	24,440
スズキ	4	4	21,592
S U B A R U	4	4	8,736
ヤマハ発動機	4	4	7,980
<b>精密機器 (3.8%)</b>			
テルモ	16	16	71,440
ニコン	4	4	2,924
オリンパス	16	16	35,264
シチズン時計	4	4	1,172
<b>その他製品 (2.3%)</b>			
バンダイナムコホールディングス	4	4	35,064
凸版印刷	2	2	2,918
大日本印刷	2	2	4,008
ヤマハ	4	4	23,520
<b>電気・ガス業 (0.2%)</b>			
東京電力ホールディングス	0.4	0.4	118
中部電力	0.4	0.4	507
関西電力	0.4	0.4	399
東京瓦斯	0.8	0.8	2,076
大阪瓦斯	0.8	0.8	1,752
<b>陸運業 (1.7%)</b>			
東武鉄道	0.8	0.8	2,772
東急	2	2	2,758
小田急電鉄	2	2	6,080
京王電鉄	0.8	0.8	6,056
京成電鉄	2	2	7,440
東日本旅客鉄道	0.4	0.4	2,504
西日本旅客鉄道	0.4	0.4	1,971
東海旅客鉄道	0.4	0.4	5,660

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
日本通運	0.4	0.4	2,900
ヤマトホールディングス	4	4	10,256
<b>海運業 (0.1%)</b>			
日本郵船	0.4	0.4	855
商船三井	0.4	0.4	1,060
川崎汽船	0.4	0.4	631
<b>空運業 (0.0%)</b>			
ANAホールディングス	0.4	0.4	1,018
<b>倉庫・運輸関連業 (0.2%)</b>			
三菱倉庫	2	2	6,260
<b>情報・通信業 (11.9%)</b>			
ネクソン	—	8	20,240
Zホールディングス	1.6	1.6	935
トレンドマイクロ	4	4	22,400
スカパーJ S A Tホールディングス	0.4	0.4	195
日本電信電話	0.8	1.6	3,972
KDDI	24	24	75,600
ソフトバンク	—	4	5,062
NTTドコモ	0.4	0.4	1,557
東宝	0.4	0.4	1,780
エヌ・ティ・ティ・データ	20	20	27,640
コナミホールディングス	4	4	20,920
ソフトバンクグループ	24	24	162,936
<b>卸売業 (1.7%)</b>			
双日	0.4	0.4	95
伊藤忠商事	4	4	10,838
丸紅	4	4	2,441
豊田通商	4	4	13,820
三井物産	4	4	7,328
住友商事	4	4	5,236
三菱商事	4	4	9,984
<b>小売業 (13.3%)</b>			
J. フロント リテイリング	2	2	1,756
三越伊勢丹ホールディングス	4	4	2,396
セブン&アイ・ホールディングス	4	4	13,428
ファミリーマート	16	—	—
高島屋	2	2	1,740
丸井グループ	4	4	8,288
イオン	4	4	12,012
ファーストリテイリング	4	4	343,880
<b>銀行業 (0.5%)</b>			
コンコルディア・フィナンシャルグループ	4	4	1,580
新生銀行	0.4	0.4	546
あおぞら銀行	0.4	0.4	740
三菱UFJフィナンシャル・グループ	4	4	1,844
りそなホールディングス	0.4	0.4	151

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
三井住友トラスト・ホールディングス	0.4	0.4	1,258	
三井住友フィナンシャルグループ	0.4	0.4	1,263	
千葉銀行	4	4	2,436	
ふくおかフィナンシャルグループ	0.8	0.8	1,560	
静岡銀行	4	4	3,068	
みずほフィナンシャルグループ	4	0.4	563	
<b>証券・商品先物取引業 (0.3%)</b>				
大和証券グループ本社	4	4	1,843	
野村ホールディングス	4	4	2,062	
松井証券	4	4	3,520	
<b>保険業 (0.7%)</b>				
S O M P Oホールディングス	1	1	4,130	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	1.2	1.2	3,778	
ソニーフィナンシャルホールディングス	0.8	—	—	
第一生命ホールディングス	0.4	0.4	680	
東京海上ホールディングス	2	2	10,552	
T & Dホールディングス	0.8	0.8	959	
<b>その他金融業 (0.5%)</b>				
クレディセゾン	4	4	4,992	
日本取引所グループ	—	4	9,578	
<b>不動産業 (1.2%)</b>				
東急不動産ホールディングス	4	4	1,960	
三井不動産	4	4	8,518	
三菱地所	4	4	7,048	
東京建物	2	2	2,680	
住友不動産	4	4	13,200	
<b>サービス業 (7.0%)</b>				
エムスリー	9.6	9.6	77,587	
ディー・エヌ・エー	1.2	1.2	2,293	
電通グループ	4	4	13,060	
サイバーエージェント	0.8	0.8	4,960	
楽天	4	4	4,428	
リクルートホールディングス	12	12	56,280	
日本郵政	4	4	3,321	
セコム	4	4	40,140	
合 計	株 数・金 額	717	722	2,873,700
	銘柄数<比率>	225	225	<67.1%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国内	日 経 2 2 5	百万円 1,377	百万円 -
	日 経 2 2 5 m i n i	31	-

## ■投資信託財産の構成

2020年11月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 2,873,700	% 66.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,430,050	33.2
投 資 信 託 財 産 総 額	4,303,750	100.0

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年11月16日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	4,303,750,324円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,308,196,232
株 式(評価額)	2,873,700,040
未 収 入 金	173,616,032
未 収 配 当 金	16,537,520
差 入 委 託 証 拠 金	△ 68,299,500
(B)負 債	19,399,955
未 払 解 約 金	19,397,375
未 払 利 息	2,580
(C)純 資 産 総 額(A-B)	4,284,350,369
元 本	3,555,194,235
次 期 繰 越 損 益 金	729,156,134
(D)受 益 権 総 口 数	3,555,194,235口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,051円

### <注記事項>

- ① 当マザーファンドの期首元本額は3,126,202,066円、期中追加設定元本額は805,844,336円、期中一部解約元本額は376,852,167円です。
- ② 当マザーファンドを投資対象とする投資元本額の内訳は、以下のとおりです。
- 農林中金くパートナーズ>つみたてNISSA日本株式 日経225：2,236,652,119円  
 農林中金くパートナーズ>日米6資産分散ファンド(安定運用コース)：260,296,164円  
 農林中金くパートナーズ>日米6資産分散ファンド(資産形成コース)：1,039,816,036円  
 NZAM・ベータ 日経225：12,797,995円  
 NZAM・ベータ 日本2資産(株式+REIT)：5,631,921円  
 合計：3,555,194,235円

## ■損益の状況

当期 自2019年11月16日 至2020年11月16日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	46,185,829円
受 取 配 当 金	46,641,096
受 取 利 息	9,683
そ の 他 収 益 金	2,995
支 払 利 息	△ 467,945
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	288,904,639
売 買 損 益	463,514,998
売 買 損 益	△174,610,359
(C)先 物 取 引 等 取 引 損 益	214,820,968
取 引 損 益	379,673,768
取 引 損 益	△164,852,800
(D)信 託 報 酬 等	△ 50,964
(E)当 期 損 益 金(A+B+C+D)	549,860,472
(F)前 期 繰 越 損 益 金	191,140,551
(G)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 469,021
(H)解 約 差 損 益 金	△ 11,375,868
(I) 計 (E+F+G+H)	729,156,134
次 期 繰 越 損 益 金(I)	729,156,134

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。
- (注2) (D)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注3) (G)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。
- (注4) (H)解約差損益金とは、元本と一部解約時の解約価額との差額です。

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。